

第3回「山の日」 記念全国大会 in 鳥取が 開催されました

「山の日」の8月11日に、「山の日」記念全国大会in鳥取」が開催されました。「山の日」は「山に親しみ、山の恩恵に感謝する」ことを目的に2016年に制定され、第3回となる今大会は、大山開山1300年の節目の年に鳥取県大山での開催となりました。

大山総合体育館で行われた式典では、自然保護憲章発祥の地である大山から「一木一石運動」の取り組みや、山がもたらす恩恵を再認識するとともに、豊かな自然を次世代に引継ぐ決意を新たにしました。

式典会場隣では「森の恵み感謝祭」が行われ、ステージイベントの他、約60のブースが多くの来場者でにぎわいました。巣箱づくりなどの木工体験や町内団体による飲食ブースで、家族連れなどが、大山が生み出す豊かな自然の恵みを存分に味わいました。



▶大山からの豊かな恵みを届けたいと語る生産者の皆さん

左から
白ネギ農家・三木さん、豪円湯院・那須さん、酪農家・佐藤さん、漁師・中村さん



▶鷺見教育長（左）は大山自然観察会指導員として、大山の楽しさをメッセージに込めて伝えました



▶第4回開催地は山梨県。大会のシンボル「山の日帽」が引き継がれました

平井鳥取県知事から後藤山梨県知事へ（中央）



▶鳥取県警察音楽隊の伴奏で名和小児童が元気よく「大山賛歌」を披露（森の恵み感謝祭）



贈呈式は8月10日にANAクラウンプラザホテル米子で行われ、(株)モンベル辰野勇会長（写真・右）から目録が竹口町長に手渡されました。

**熊よけ鈴の寄贈
ありがとうございました**

登下校や大山周辺での校外活動をする子どもたちの安心、安全を確保できるようにと、(株)モンベルから熊よけの鈴の寄贈がありました。

この鈴は、2学期に児童・生徒全員に貸与することとしています。熊はもとより、鈴の音で周辺にいる大人にも子どもたちの存在を知らせることができ、不審者対策にも役立つと考えています。